

学校教育目標	自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ
目指す学校像	夢のある生き生きとした学校
重点目標	1 生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導・教育相談を行い、心理的安全性を高める。 2 カリキュラムマネジメントの充実による自立した学習者を育成する。 3 学校、家庭、地域が連携し、地域とともにある学校づくりに取り組む。 4 教職員の心理的安全性を高め、学び続ける教職員集団の育成に努める。

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価	
年 度 目 標					年 度 評 価		実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	<現状> ○授業に関しては、真面目に取り組む生徒が多い。 ○調査・整理・まとめ・発表する活動に意欲的に取り組む生徒が多い。 <課題> ○全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査において、どの教科も基礎問題・活用問題の正答率に二極化傾向が見られる。 ○教科の単元によって、取り組みに差が見られる。	・自立した学習者を育成する。	・学び方、教え方の授業実践等を共有する研修を実施し、学びの指標を意識した授業改善を行う。 ・学習への主体性を高め、自ら学習の最適化を進め、家庭学習等で活用できるようにする。 ・ICTの利点の活用、教科横断的な授業等による探究的な学びにつながる授業を実践する。	・学びの指標(生徒対象)の該当項目の向上(前年度比0.1以上) ・教育データの利活用による対応体制を確立し実践できたか。				
		・授業力の向上による分かりやすい授業を実現する。	・教員による小学校への授業参観を行い、小中一貫教育を推進する。 ・各種調査等から自校の課題を共有し、学力向上カウンセリング研修等を行い、実態を把握と授業改善を行う。	・生徒アンケートで、学習に関する項目で肯定的評価の向上(98%以上) ・保護者アンケートで、学習に関する項目で肯定的評価の向上(90%以上)				
2	<現状> ○素直で、落ち着いて生活をしている生徒が多い。 ○生徒アンケートで、学校生活が快適である項目が約84%であり、肯定的な意見が多い。 <課題> ○アンケートのルールを守っているという項目の肯定的意見が、生徒77%、保護者86%である。	・生徒一人ひとりに寄り添いながら学習環境を整備し、基礎学力の定着を実現する。	・生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導・教育相談を行い、心理的安全性を高めるため、情報共有と迅速な対応を行う。	・生徒の快適な学校生活の項目のA評価の向上(50%以上) ・全校三者面談、保護者会等の実施、学校、学年だより等の発行を計画的に進められたか。				
		・外部講師の活用、生徒が主体的に取り組む、いじめ防止等に向けて考えを深める	・生徒会活動、学校行事、部活動等で、主体的に取り組む場面を設定し、振り返る場面をつくる。 ・外部講師による講演を実施し、いじめ等防止に向けて考えを深める。	・生徒の主体的に取り組める場面を設定し、振り返る場面を作ることができたか。 ・生徒の作品展示や表彰等を充実させ、お互いを認め合う場面を作ることができたか。				
3	<現状> ○学校運営協議会において、生徒のことを考えての熟議が行われている。 ○PTAを含め、保護者が学校に対して、とても協力的である。 <課題> ○コミュニティ・スクールとしての活動が少ない。 ○学校運営協議会の活動について、発信が少なく、周知に至っていない。	・学校、家庭、地域が連携し、ともにある学校づくり。	・学校運営協議会、本校PTAとの連携、校区小学校PTA等の情報収集等を行い、生徒と協働的な活動の場の発掘を行う。 ・学校だより、学校HPによる取組内容について積極的な情報発信を行う。	・情報発信等における評価項目で、保護者・地域のアンケートでA評価の向上(45%以上) ・地域行事等について、校内での掲示、発信等の実施(月1回以上)				
		・地域と生徒をつなぎ、活躍の機会を設ける。	・チャレンジスクールとの連携を密にして、地域の人材の発掘を行う。 ・C・Sの会議に生徒を参加させ、R8年度に向けた協働の場を実現する。	・生徒の地域活動、地域との協働への参加率の向上(8%以上)				
4	<現状> ・施設等の老朽化、経年劣化による破損等が見られる。 ・安全点検日を設け、事故根絶に向けて取り組んでいる。 ・生徒の欠席連絡等については、アプリを導入して、使用度が上がっている。 <課題> ・アプリの登録について、100%に至らず、周知に至っていない。	・計画的に予算執行を行い、施設や諸表簿の確認を実施し、安心、安全な学校づくりを実現する。	・校内巡視を行い、施設等の安全確認を実施する。 ・施設不備、諸表簿等による事故を根絶するため、安全点検日を設けて確認をする。 ・会計担当者会議を設置し、校内会計規定等に基づき、会計監査を実施する。	・教職員の学校評価において、該当項目の肯定的な意見の向上(90%以上)				
		・情報を積極的に発信し、保護者等との情報共有による安心、安全な学校生活を実現する。	・アプリを活用し、欠席者等を把握し、保護者との連絡を徹底する。 ・不審者情報等について、安心メールを活用して情報発信を行い、生徒の見守り体制を構築する。	・保護者アンケートにおいて、安心、安全に配慮した教育活動の項目で、A評価の向上(30%以上)				
5	<現状> 教職員のアンケートにおいて ・働きやすい職場であるの項目において、肯定的な評価は80%であった。 ・研修の参加のしやすさの肯定的な評価は76%であった。 <課題> ・業務改善については、肯定的な意見は、52%であった。 ・希望研修等への研修参加者が多くない。	・教職員の心理的安全性を高める業務改善の実施	・業務改善チームを立ち上げ、量的改善、質的向上の業務改善を目指す。 ・教職員のメンタルヘルスケアのため、在校時間の把握、面談や声掛けを心掛け、ストレスチェックや長時間在籍者の医師による面接指導を活用しながら支援を行い働きやすい職場づくりを進める。	・教職員のアンケートの業務改善の項目において、肯定的な意見の向上(60%以上) ・働きやすい職場であるとの項目において、肯定的な意見の向上(85%以上)				
		・教職員の資質向上に向けた研修等の充実	・キャリアnavi、研修履歴及び教職員プラットフォームを活用した目標設定と的確な受講奨励を行い、授業力向上を図る。	・教職員アンケートの研修の項目において、参加しやすさの向上(80%以上) ・希望研修等への参加者を昨年度より増やす。				

